

製品名: LRP6 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21175**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:180kD;Observed MW:210kD

抗原情報

遺伝子名	LRP6
別名	
遺伝子 ID	4040.0
SwissProt ID	O75581
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

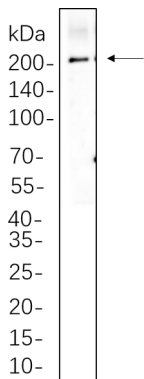
細胞局在: 膜。この遺伝子は、低密度リポタンパク質 (LDL) 受容体遺伝子ファミリーのメンバーをコードします。LDL 受容体は、リ

ポタンパク質およびタンパク質リガンドの受容体を介したエンドサイトーシスに關与する膜貫通型細胞表面タンパク質です。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Wntの受容体として、あるいはFrizzledと共受容体として機能し、それによって標準的なWnt/ β -カテニンシグナル伝達カスケードを伝達します。Wnt/ β -カテニンシグナル伝達カスケードとの相互作用を通じて、この遺伝子は細胞の分化、増殖、遊走、そして多くの種類の癌の発生の制御に關与しています。このタンパク質は γ -セクレターゼ依存性RIP（制御性膜内タンパク質分解）プロセッシングを受けますが、切断部位の正確な位置は未だ解明されていません。[RefSeq 提供、2009年12月]

研究分野

-

画像データ



Hela 細胞全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを LRP6 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットィングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。